

2022 年度 生涯学習センター動向

高梨 博子

2022 年度、生涯学習センターでは、在学生・卒業生・一般市民を対象に、学内外の生涯学習活動との連携を図りつつ、本学の知的財産・教育的資産を社会に開放し、学内外の生涯学習活動と連携・推進するという目的達成のため、日本女子大学の伝統と特質を活かした公開講座事業・リカレント教育事業・施設提供を新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながらおこなった。

以下、公開講座事業とリカレント教育事業に分けてまとめる。

1. 公開講座事業

(1) 公開講座

公開講座は、教養講座・語学講座・キャリア支援講座・リカレント教育課程連携講座に分けて企画し、目白・西生田両キャンパスにおいて 127 講座を開講し、総受講者数は 1,809 名であった。受講形態については、教養講座と語学講座は、一部を除き対面で実施した。キャリア支援講座とリカレント教育課程連携講座は、内容に合わせて対面またはオンラインで実施した。教養講座では文京区、川崎市、桜楓会等、外部との連携講座も開講した。

キャリア支援講座については、いくつかの講座をキャリア支援課や社会連携教育センター、メディアセンター、学科等と連携して企画・実施した。さらに、今年度よりキャリア支援講座の語学、資格試験対策、就職活動対策の講座を泉会の支援により受講料を割引価格にて提供し、1～2 年次を対象とした就活準備講座は無料で開講した。

(2) 地域連携活動

1) 文京区

生涯学習センター講座とは別に、「文京アカデミア講座」として大学キャンパス講座を前後期 4 講座、文京区民が割引で受講できる制度「資格取得キャリアアップ講座」としてキャリア支援講座を 6 講座提供した。また、VOD 講座の仕組みを生かし、文京区が実施した講演会・講座を「文京 e ラーニング」として提供するため、コンテンツ 3 つの作成と配信を請け負った。

2) 川崎市

西生田キャンパスで開講している教養講座及びオンライン講座のうち、地域貢献性の高いものを川崎市教育委員会・大学等高等教育機関連携事業として市民に提供しており、今年度は開設 18 講座のうち 17 講座を開講した。

その中の一つ「西生田キャンパスのタヌキから学ぶ」は多摩区制 50 周年記念冠事業に採択され、多くの地域住民が参加した。

2. リカレント教育事業

リカレント教育課程では、2007年の設立以来実施している女性の再就職支援のための「再就職のためのキャリアアップコース（2021年度より名称変更、以下、再就職コース）」に加え、2021年度に新設した就労中の女性を対象とする「働く女性のためのライフロングキャリアコース（以下、働く女性コース）」の2つのコースを運営し、女性のためのリカレント教育を普及・啓発する取り組みを実施した。「再就職コース」は文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」講座及び厚生労働省「専門実践教育訓練講座」に認定されており、2022年度は24回生21名が入学、うち20名が修了した。「働く女性コース」は「再就職コース」と同様に文部科学省のBP認定講座であるほか、厚生労働省「一般教育訓練講座」の指定講座であり、2022年度は2回生として就労中の社会人女性23名が入学し、全員が修了した。なお、「働く女性コース」については「一般教育訓練講座」から「特定一般教育訓練講座」への変更申請が認められ、2023年度から施行される。また、両コース合同の修了式を3月11日にハイブリッド形式により成瀬記念講堂で開催した。

(1) 教育課程

「再就職コース」は対面(木曜・金曜)とオンライン(月曜・火曜・水曜・土曜)の混合型で開講し、「働く女性コース」は全面オンライン形式で平日夜間と土曜日に実施した。また、修了生へのアンケート結果や連携企業、修了生採用企業担当者からのヒアリング結果を参考にして、リカレント教育委員会にて提供科目の見直しを行った。

2017年度より開講している野村証券株式会社の寄付授業として、「再就職コース」において後期科目「働く女性のための金融経済講座」を全6回・1単位として開講し、リカレント生13名が履修した。また、「働く女性コース」についても同様に野村証券株式会社の寄付授業として、後期科目「働く女性のためのブラッシュアップ金融経済講座—人生100年時代の未来投資—」を全3回・0.5単位として開講し、リカレント生13名が履修した。なお、両授業とも生涯学習センターのリカレント連携講座として本学学部生・大学院生も受講可としている。

学部授業の科目履修については、キャリア形成科目群、キャリア基盤科目群として学部提供科目を受講した科目等履修生（「再就職コース」）は、4科目4名であった。

通信教育課程授業の科目履修については、2014年度よりリカレント教育課程受講生に通信教育課程スクーリング科目の聴講が認められ、2018年度からは修了要件として1科目まで参入可能となっているが、2022年度の受講人数は、1科目3名（「再就職コース」）であった。

東京商工会議所との連携については、連携授業として「ITリテラシー4 (Access)」を「再就職コース」12名、「働く女性コース」4名が受講、連携講座として「タイムマネジメント講座」（これまで文京区中小企業ダイバーシティ人材採用促進事業として提供してきたもの）を本課程単独講座として1月28日に両コース共通でオンラインで実施、20名が参加した。また、東京商工会議所主催の「会員企業と学校法人との就職情報交換会」に計3回、「教育・人材育成委員会」に生涯学習センター所長が学識委員として2回、委員として1回の計3回出席した。

現代女性キャリア研究所の「リカレント教育課程修了者のライフキャリア形成促進政策に関する研究」（全労済協会研究調査助成による研究）に調査協力し、本課程修了生 12～23 回生 356 名のうち 112 名から回答が得られた。

トランスジェンダー受講生の受け入れについては、リカレント教育委員会において議論した結果、非正規生は対象外とする大学の受け入れ方針に則り、学部生の実績状況を見てから改めて検討することとした。

JWU キャリア科目「女性と職業」については、2022 年度は「再就職コース」より 2 名の修了生がゲストスピーカーとして登壇した。

日本女子大学リカレント教育課程「NOW リカレント奨励賞」を新設し、今年度の修了式ではじめて受賞者への授与が行われた。この賞は、本課程修了生の団体「特定非営利活動法人 NOW for Empowerment」より活動終了を機に金 45 万円の寄付があり、修了要件を満たし、学業・人物ともに優れた「再就職コース」の修了生 1 名に金 2 万円を授与するものである。

次年度以降につながる活動としては、時勢を鑑み、2022 年度に国の施策である DX 推進や女性活躍を主眼とした「DX 推進人材育成コース」の素案を作成した。これは、省庁や自治体、企業との連携も含むものである。

（2）再就職支援

必修科目「キャリアマネジメント 1 および 2」において再就職準備のための書類・面接指導を行う一方で、就職事務担当者による就職ガイダンスや進路相談等のキャリア支援を実施した。また、9～10 月にかけて「修了生との交流会」を 2 回実施し、延べ 72 名の受講生が修了生と交流した。東京労働局との連携では、「マザーズハローワーク東京による再就職ガイダンス」を 2023 年 1 月に実施し、18 名が参加した。求人情報を独自のウェブサイトによって受講生及び修了生に提供し、企業への応募を支援した。また、キャリアコンサルタントによる面接、グループワークも実施し、延べ 141 名が参加した。オンラインで開催した個別・企業説明会には 25 社が参加し、リカレント受講生・修了生が延べ 142 名参加した。このほか、本課程オリジナルの求人検索システムについて、リカレント受講生の再就職活動に特化した運用を生涯学習課（リカレント担当）が検討し、システム課がリニューアル構築を行い、11 月より運用を開始した。

（3）文京区中小企業ダイバーシティ人材採用促進事業

2018 年度に文京区の「中小企業人材確保・採用拡大支援事業」として支援がスタートしたものが、2019 年度より名称を変更し継続しているもので、2022 年度も明治大学スマートキャリアプログラムとの連携の上、セミナー開催、文京区内中小企業とのマッチング支援、キャリアカウンセリングをオンラインで実施した。今年度からは同事業「就活応援セミナー（女性対象）」とも共同で開講した。

（4）文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」による「実務家教員 COE プロジェクト」

同事業 4 年目となる 2022 年度も、社会構想大学院大学の実務家教員養成課程修了者の

うち、希望者を対象に「事前指導3」及び90分の模擬講義を実施し、評価のフィードバックを行った。今年度はオンラインと対面のいずれかによる実習となったほか、ハイブリッド方式を導入し、評価者はオンライン参加も可とした。模擬講義の受講者は、本課程受講生を中心に、本学学部生・大学院生より募集し、フィードバックは模擬講義の最後に口頭で、及び終了後10分でWEB入力する受講者アンケートで行った。このほか、生涯学習センター所長、リカレント教育委員会委員、リカレント教育課程担当講師を評価者とし、終了後に設けられた時間内に口頭、及びWEB入力による評価シートを通して実習実施者に対して評価を行った。さらに、受講者アンケートと評価シートの結果を集計し、後日実習者にフィードバックした。本学における今年度の実習実施者数は9名、延べ受講者数84名、延べ評価者数は72名であった。

（5）女性のためのリカレント教育推進協議会

第4回「女性のためのリカレント教育推進協議会」シンポジウム「アントレプレナーとリカレント」（大同生命保険株式会社による寄付支援、京都女子大学ジェンダー教育研究所共催）を、2023年3月16日にオンライン（Zoom ウェビナー）にて開催した。アントレプレナーシップについての講演、パネルディスカッションの後、協議会の各会員校から今年度の活動報告があり、本学からは高梨生涯学習センター所長が報告を行った。

（6）広報・取材等

2022年度も省庁・団体からの要請やメディアからの取材等への対応を行った。

東京中小企業投資育成株式会社の「東京中小企業投資育成セミナー」に「ダイバーシティの推進と人材採用」と題して生涯学習センター所長が講演し、参加企業との意見交換も行った。第4回「女性のためのリカレント教育推進協議会」シンポジウムにおいて生涯学習センター所長から本学の活動報告を行った。文部科学省「総合教育政策局男女共同参画学習・安全課」、及び広島県議会「未来を支える人づくり・少子化対策特別委員会」からの視察に対して本学のリカレント教育課程の概要説明、意見交換、施設見学等を行った。東京家政大学女性未来研究所、実践女子大学・実践女子大学短期大学部、大阪府商工労働部・商工労働総務課経済リサーチグループからのヒアリングに対応した。東京都「令和2年度東京都女性活躍推進大賞」授賞式（コロナ禍で延期）に今市理事長が出席され、小池百合子都知事と面会した。

また、取材については、PRESIDENT Online 及び回遊舎書籍「いちからわかる！ FIRE 入門積立投資で目指す早期リタイア術」にて本課程が紹介されたほか、読売新聞の特集「教育ルネサンス」、毎日新聞の「社会人のヒント」（坂本現代キャリア女性研究所所長のインタビューにてリカレント教育の紹介）、共同通信社（神奈川新聞、佐賀新聞、京都新聞ほか）「仕事をあきらめない～女性の学び直し」、JobQ「JobQタウン」（Web サイト）にインタビュー記事が掲載された。

（たかなし ひろこ 生涯学習センター所長）

データ提供：生涯学習課